

# 放射線技術科支部会報

Vol. 5 1994年9月15日発行

発行人 末森慎治（1期生）  
編集 黒住 晃（4期生）  
編集発行 川崎医療短期大学同窓会  
（松丘会）放射線技術科支部  
〒701-01 倉敷市松島316  
☎086-462-1111（3055）  
印刷 西日本法規出版㈱

## 『本年度事業計画について』

放射線技術科支部

支部長 末 森 慎 治（1期生）

身も心も湿りがちな日々が続いた雨季も終りを告げようとしています。これから、暑い暑い夏がいままさに来ようとしています。昨年は、天候不順のため、全国的な米不足となり、苦勞された方々も多かったことでしょう。また、社会的にも悲しい事件や重大なできごとがたくさんありました。こうした時代の流れの中で、自らをもう一度見つめなおし、今なにをすべきなのかを考えてみて下さい。

さて、放射線技術科支部同窓会は、3月の定例代表者会議において、昨年度からの事業に引き続き、本年度も数々の事業を行うことが決議されました。特に本年度は、役員改選の年にあたります。現在、放射線技術科支部の役員、並びに同窓会の運営に御協力いただいている方々は、約40名おられます。御多忙中にもかかわらず各役員になられた方々には、それぞれの仕事を遂行していただいております。こうした方々の御協力で、放射線技術科支部が運営されていることを、会員の皆様方も良く認識していただきたいと思ひます。

本年度に初めての放射線技術科支部総会が開催されます。現在、総会運営委員会で着々と準備が進められております。総会には会員の皆様にぜひ出席していただき、放射線技術科支部が益々発展しますよう御協力をお願い致します。また、選挙管理委員会では、次期支部長と、監査の改選に向けて着々と準備が進められています。放射線技術科支部を発展させていくためにも全会員の総意のもとで新役員の選出をしていただきたいと思います。

次に、全期の合同同窓会を平成6年度、全国放射線技師総合学術大会（佐賀県）において、開催いたします。ひさしぶりに懐かしい顔に会ってみるのはどうですか。また、同じ同窓生であっても知らない人との出会いもあることでしょう。是非この機会を大切に生かして下さい。今後、このような同窓会が各地で開催され、同窓生の交流の場が増える事を切に願って止みません。しかし、幹事を引き受けていただく同窓生には大変な苦勞があると思ひます。幹事の方々の苦勞を考えて、「いそがしいから」などと言わずに是非みなさんで参加し、楽しい合同同窓会が開催できるよう協力しましょう。「次はどこで同窓会があるのだろうか」、必ずや同窓会が楽しみになる日が来ると信じています。

最後に、各期の同窓会を開催される幹事のかたは、放射線技術科支部に助成金制度がありますので、各期の代表者の方もしくは、直接事務所までお知らせ下さい。また、会員の皆様には、年会費千

円を納入して下さいよう重ね々お願いいたします。支部会誌，名簿作成，発送等に支障をきたす事態となっております。未納の方は早急に振り込みをお願いいたします。

以上，本年度の主要となる事業計画を述べましたが，このほかの事業につきましても引きつづき行って参ります。今後とも皆様の御協力をお願いいたします。 (1994年7月)

## 会 告

### 放射線技術科支部総会について

総会運営委員長 金 田 俊 章 (1期生)

本会第1回総会を，放射線技術科支部規約第9条にもとづき開催いたします。尚，今回は役員改選期にあたるため，選挙と同時に2月19日(日)，川崎医療短期大学200号教室にて開催予定です。

詳細は，次号の支部会報にてお知らせします。

### 総会・役員選挙に臨んで

選挙管理委員長 松 浦 潔 行 (2期生)

今回，松丘会放射線科支部の，第2期代議員・三村浩朗氏，支部長・末森慎二氏の両名から依頼を受け，初めての役員改選に伴う選挙を行う事となりました。

卒業後，この様な要件で支部会との関わりを持つ事は，私自身意外な事ではありましたが，微力ながら御手伝いをさせて頂く事となりました。

実際，今まで何気なくただ送付されて来る支部会誌の発行その他で，日常業務以外に大変な御苦勞をされて来た事。又，川崎医療短大放射線科の多くの卒業者に対し，暖かい眼差しを贈ろうと努力されている姿には，ある種の共感を覚えます。

選挙管理委員会に於いても，この熱意に応えるべく，これ迄に会合を重ね議論をして参りました。会員が全国の色々な施設に於いて活躍しておられる現状では，選出規定そのものの整合性が今後問われて来るとの見解・認識で，一致をしました。しかしながら，現実的な手法として今回，現行法での改選も，余儀なしとの結論に至った事で，新しく選任されるであろう代議員の方々に，大きな課題を残す事となりました。

最後になりましたが，松丘会放射線科支部が会員との求心力を一層強め発展する様，会員の御協力を広く求められる様，期待しております。

選挙管理委員 川 上 由美子 (5期，佐藤胃腸科外科病院)  
伊 石 浩 子 (6期，倉敷第一病院)  
田 渕 隆 (8期，倉敷中央病院)  
王 田 順 久 (10期，倉敷中央病院)  
大 角 真 司 (11期，倉敷中央病院)  
楨 野 雅 章 (12期，水島第一病院)

記 平成6年7月22日

## 選挙管理委員会からのお知らせ

役員選出規程により、以下の役員の選出を行います。

- (1) 支部長 1名
- (2) 監査 2名

別紙書式1及び2について記入し、立候補の場合は候補者としての履歴と抱負、推薦の場合はその理由を該当書式に記入同封の上、郵送願います。

応募のあった文書については、当選挙委員会が厳重に保管し、次回会誌に於いて発表、総会の場で即日選挙の予定です。(尚、郵送費については経費節減の為、個人負担と致しますので、御了承下さいます様、お願い致します。)

会員各位に於かれましては、御多忙中の折とは思いますが、宜しく御協力下さいます様、重ねてお願い致します。

《郵送先》 〒710 倉敷市美和1-1-1 倉敷中央病院 放射線センター  
田 洩 隆 宛

※宛名・郵送先については、間違いの無い様、願います。  
記入ミス等がありますと、正確に届かない場合があります。  
尚、当委員会では書式の再郵送の請求には応じませんので、  
その点特に御注意下さい。

【郵送の締切】 平成6年11月30日 必着と致します。

## 平成5年度 第4回代表者会議事録（抄）

日 時 平成6年3月19日（土）午後3時  
～午後4時40分

場 所 川崎医療短期大学 300号教室

出席者 支部長 末森慎治

副支部長 荒尾信一

会計 天野貴司

監査 大元浩子

運営委員長 黒住 晃

運営委員 水上 洋

代表者 2期生 三村浩朗

3期生 今井章人

4期生 人見 剛

5期生 山本浩之

6期生 引野元裕

7期生 池長弘幸

10期生 吉田耕治

12期生 角場幸記

14期生 甲谷理温

九州・山口  
地域支部長 小川正人

総会運営  
委員長 金田俊章（以上17名）

### 議事の経過および結果

末森支部長のもとに第4回代表者会を開会、挨拶の後、3期代表者、今井章人氏を議長に選出し、議事に入った。

- (1) 松丘会常務理事会報告（平成6年1月25日（火）開催）（末森）

- 支部助成金

- 卒業生にテレホンカードを贈呈
  - 同窓会入会式（卒業式前日）
  - 放射線技術科15期代議員および代表者，石川哲也（川崎医科大学附属病院）
- (2) 総会運営委員会，選挙管理委員会報告（平成6年1月22日（土）開催）（荒尾）
- 総会運営委員長に金田氏（1期川崎医科大学附属病院），選挙管理委員長に松浦氏（2期兎島中央病院）が就任。
  - 総会運営委員会（金田）  
平成6年8月9日総会，平成7年2月選挙という案を平成7年2月総会，選挙同時開催に変更決定した。尚，詳細は技師会，技術学会等他の行事と調整をはかり会誌次号（Vol. 6）で掲載予定。  
総会の周期案（2年に1回，4年に1回等），各委員の任期など意見がでたが，今後の会議の議事とした。
  - 選挙管理委員会（荒尾）  
選挙の告示，公示等は会誌で立候補用紙，推薦用紙は会誌と同封で送る。選挙管理事務所は倉敷中央病院内におく。  
立候補用紙，推薦用紙の選挙管理事務所までの送料は個人負担とする。
- (3) 放射線技術科支部規約の改定（末森）
- 第4条，第2項及び第11条，第1項の改定  
松丘会会長より「現川短放射線技術科の教職員を特別会員と認め，会費は徴収しないで欲しい。」と，要請があり賛成多数で承認された。
- (4) 平成5年度事業報告（末森）
- 会誌の発行（Vol. 3，vol. 4）
  - 会員名簿の充実（コンピュータ化）
  - 九州・山口地域支部（倉友会）10周年記念式典への助成及び支部長講演
  - 九州・山口地域支部（倉友会）平成5年度総会への派遣（荒尾）
- 第10，14期生同窓会開催に助成金
  - 支部会費の徴収
  - 支部規約の改正及び支部各種規定の作成
  - 運営委員会および代表者会の開催
- (5) 平成5年度決算報告（天野）
- (6) 平成6年度事業計画案（末森）
- 第1回放射線技術科支部総会の開催及び第1回役員選挙
  - 総会運営委員会，選挙管理委員会の開催
  - 会誌の発行（Vol. 5，Vol. 6）
  - 会員名簿の充実
  - 九州・山口地域支部（倉友会）への助成及び総会への役員派遣
  - 同窓会開催への助成
  - 平成4，5，6年度会費の徴収
  - 運営委員会及び代表者会の開催
  - 役員等運営委員の充実
  - 平成6年度全国放射線技師総合学術大会（佐賀）での同窓会開催及び役員派遣
  - 地域支部設立の推進
- (7) 平成6年度予算案（天野）
- 〈質疑〉  
会誌印刷費が少ないのはなぜか？
- 〈応答〉  
総会運営費用の予測がつかないため，会誌印刷費を削減した。
- 〈質疑〉  
特別会計積立金とは何か？
- 〈応答〉  
放射線技術科支部20周年に向けての事業資金として積立てる。
- (8) 同窓会に対するアンケート調査（末森）
- 今回，10期生同窓会開催にあたりアンケート調査の御協力を願った。今後もこの様な形式で行う予定であるとともに会誌紙面で結果をお知らせしたい。
- (9) 支部会誌について（黒住）

●平成6年度は役員選挙の関係上、年2回の発行予定であるが、印刷費を削減する方針で計画中である。

●掲載内容等で希望があれば？  
誤字（特に名前）、脱字に注意して欲しい。

- (10) 住所不明者リスト（末森）
- 2期生 芦原裕美（難波） 飛弾和美  
4期生 大迫みち代 梶川真弓  
5期生 安楽浩一 佐藤千恵美（鈴木）  
福田文子（丸山） 寺田祐也  
6期生 西山紀子 日地良雄  
日高 徹 村田佳代  
9期生 三上雅也 佐藤研一  
那波哲也 福満誠一  
11期生 西村貴子（佐々木） 西村伸二  
12期生 小池大作

- (11) 平成6年度全国放射線技師総合学術大会（佐賀）での同窓会への参加願ひ（末森）  
以上、提案および報告事項を承認した。

## 平成5年度決算報告

収入の部 科 目	決算	備 考
前年度繰越金	331223円	
同窓会(松丘会)援助金	130000円	
平成4,5年度会費	402000円	
第14期生支部会費	48000円	48人×1000円
利息	2402円	
合 計	913625円	
支出の部 科 目	決算	備 考
会誌印刷費	281389円	会誌Vol.3 138329円 会誌Vol.4 143060円
通信費	245394円	会誌送料242200円 切手代1240円 代表者発送費648円(72円×9人) 代表者会開催案内496円(62円×8人) 代表者会開催案内810円(90円×9人)
事務費	22651円	封筒22651円
交通費	19760円	岡山一小倉(1人)
	19760円	小倉一岡山(1人)
慶弔費	1637円	梶原教授実母
地域支部助成金(倉友会)	14100円	(300円×47人)
倉友会10周年記念助成金	60000円	
同窓会開催助成金	4018円	第14期生(82円×49人)
同窓会開催助成金	5740円	第10期生(82円×70人)
合 計	674449円	

## 平成6年度予算案

収入の部 科 目	決算	備 考
前年度繰越金	239176円	
同窓会(松丘会)援助金	130000円	
第15期生支部会費	44000円	44人×1000円
平成6年度支部会費	250000円	250名(見込)×1000円
合 計	663176円	
支出の部 科 目	決算	備 考
総会運営費	60000円	
会誌印刷費	100000円	
通信費	250000円	
事務費	50000円	
交通費	40000円	
同窓会開催助成金	45000円	
倉友会助成金	15000円	会費納入人数×300円
特別会計積立金	100000円	
予備費	3176円	
合 計	663176円	

## 監査報告書

平成6年4月16日

川崎医療短期大学同窓会

(松丘会)放射線技術科支部

支部長 末森 慎治 殿

(松丘会)放射線技術科支部

監査 大元 浩子

高野小百合

平成5年度の会計、及び会務の運営状況について平成6年4月16日、川崎医療短期大学放射線技術科講義室において監査を実施した。その結果をここに報告する。

### 1. 会計

本会の平成5年度期末監査を本日実施しました。会計処理については適正に処理され、かつ、保管されており、代表者会において承認された予算に基づき会計が執行されていることを認めます。

### 2. 会務ならびに事業

平成5年度の事業計画に基づき、実施資料や報告書、また、会務運営に関する書類を閲覧した結果、支部会誌にも掲載されているとおりの精力的かつ、計画通りに会務ならびに事業は遂行されたことを認めます。

## 倉友会だより

産業医科大学病院

倉友会会長 小川 正 人（1期生）

### 倉 友 会 倉敷で共に学びし仲間達の集まり

今年の夏は例年になく猛暑となり、各地で水不足が伝えられていましたが、卒業生の皆さん如何お過ごしでしょうか。

九州・山口地区にも新たに15期生9名が加わり、総勢130名を越える大所帯となりました。また、後述致しますが昨年倉友会10周年記念を開催し、これまで活動の有意性を再認識することができ、なお一層の努力の必要性を会員一同感じております。

さて、話は変わりますが昨年の秋、放射線技術学会秋期学術大会が広島で開催されました。母校から近いこともあり多くの卒業生に会えることを期待して参加しましたが、実際には数名の方にお会いしたに過ぎませんでした。この数は全卒業生の約1パーセントで他大学に比べかなり肩身が狭く、川崎医療短大のレベルの低さ・意識の低さを露呈しているものであり少し寂しい気がしました。出席できない理由は各々あると思いますが、開催地から考えると少なくとも学会に併せて同窓会でも開けるくらいの積極的な出席が望ましかったのではないのでしょうか。技師会でも放射線技師の社会的地位・資質の向上を唱え、統一講習会等いろいろな卒後教育を企画している今日、実に逆行的な姿勢であり給料を貰えばそれで良い、わざわざ学会に出席してもしょろがない……のでしょうか？

医師は大学6年間終了後研修期間があり専門医試験・博士号取得等と医師としての修練を積む時期があります。しかし、放射線技師は3年間の短い期間で専門分野と僅かな一般教養を身につけ即戦力として社会に出、就職後は医師なのか技師なのか分からないような態度で白衣を着た医療用語を使う職員として業務を行います。そして“あの医者はだめだ”とか“なァーも知らん”とか言って自分は僅かの知識を自慢している。本当にこれで良いのでしょうか？

先日ある同窓生に川崎の卒業生はもっと学会や勉強会に出席したり、論文を書いたりしないといけないと話したところ、忙しいしそれよりも患者に優しい放射線技師を目指す方が大切ではと言う返事であった。まさにその通りですが患者に優しく接するのは、なにも放射線技師に限ったことではなく医療技術者にとって当り前のことではないのでしょうか。

私自身も就職して数年は何にも努力しないで、ただ給料が貰えれば良いと考えていましたが、今は優秀で立派な放射線技師になるためにはどうしたら良いのか倉友会の会員と一緒に考えています。全国の卒業生の皆さん良い答えがあったら教えて下さい。年齢以上に歳をとった方や今の生活にどっぷりと浸ってしまっている方はしたかないでしょうが、若い気力のある方は是非我々と一緒に考えていきましょう。倉友会は「倉敷で共に遊びし仲間達の会」です。九州・山口に限定した会とは思っていませんし門戸を広げて全国の皆さんの参加・アドバイスをお待ちしています。

最後に、今後放射線技師の免許更新制度やランク分け等も考えられています。卒業生の皆さん自分がどの位置にあるのか再度考えて、手遅れにならないように頑張ってください。

## トピックス

放射線技術科支部

副支部長 荒尾 信一（8期生）

### [人事]

平成6年4月1日より、山下一也先生が川崎医療短期大学放射線技術科教授として就任された。先生は、大阪大学医療技術短期大学部放射線技術学科教授を退官後、本学へ着任された。本学においては、特に画像工学等において学生の教育にあたられており、今後、益々のご活躍が期待される。

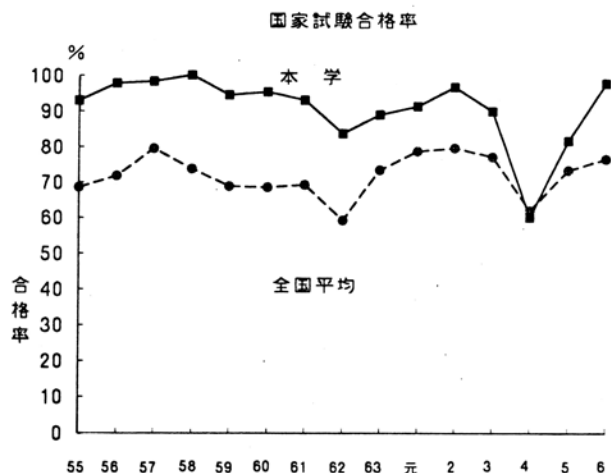
### [卒業]

平成6年3月、放射線技術科第15期生が卒業し、本学科の卒業生数（同窓会放射線技術科支部会員数）は779名となった。また、平成7年3月卒業予定者は63名で出身県の内訳は以下のとおりである。

出身県	男	女	出身県	男	女	出身県	男	女
岡山県	5	10	福岡県	5	2	滋賀県	1	0
広島県	3	3	佐賀県	0	1	三重県	1	0
山口県	2	2	長崎県	4	0	愛知県	0	1
島根県	2	0	宮崎県	2	0	静岡県	1	0
香川県	0	2	熊本県	1	0	石川県	1	1
高知県	0	2	鹿児島県	0	1	東京都	0	1
愛媛県	1	1	沖縄県	2	0	山形県	0	1
徳島県	1	0	兵庫県	1	1	北海道	1	0
合 計 34 29								

### [国家試験]

第46回診療放射線技師国家試験の本学の成績は、合格率97.7%（全国平均76.4%）であった。開学からの成績を下図に示しているが、昨年より除々に好成績となっている。本年度の卒業生にもより一層の健闘を期待したい。



### [新入生]

平成6年度新入生として、第18期生を迎えた。新入生は、62名（男子35名、女子27名）で、本年度をもって推薦入学による入学者が全学年揃うこととなった。

## 【計 報】

第12期生の永島伸一郎君が、事故のため去る4月18日死去されました。放射線技術科同窓会会員一同、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

角 場 幸 記（12期生）

